

## シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウに注意！

## 1 発生状況

- ・シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウについて、8月上旬から中旬にかけてのフェロモントラップ誘殺数が平年に比べてやや多い～多いで推移している地点が多数見られた。

※フェロモントラップ調査結果(シロイチモジヨトウ)

[https://www.pref.osaka.lg.jp/o120090/nosei/byogaicyu/trap\\_tyousa/r6/r6trap\\_shiroichi.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/o120090/nosei/byogaicyu/trap_tyousa/r6/r6trap_shiroichi.html)

※フェロモントラップ調査結果(ハスモンヨトウ)

[https://www.pref.osaka.lg.jp/o120090/nosei/byogaicyu/trap\\_tyousa/r6/r6trap\\_hasumon.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/o120090/nosei/byogaicyu/trap_tyousa/r6/r6trap_hasumon.html)

- ・大阪管区気象台の近畿地方1ヶ月予報(8月29日発表)では、向こう1か月の気温は、平年と比較して高い確率が80%と予想されており、今後の発生に注意が必要である。

## 2 特徴

## (1)シロイチモジヨトウ

① 主な加害作物:ねぎ類、キャベツなどのあぶらな科野菜、しゅんぎく、花き類など

② 生態

- ・卵は直径約0.4mmの球形で、数十～数百個程度が一つの塊となっており、黄白色～灰白色の毛におおわれる(写真1)。
- ・卵からかえった幼虫(写真2)は、しばらく集団で葉を食害し、成長すると分散して単独で加害する。
- ・幼虫の体色は、若齢では淡緑色、中齢以降になると淡緑色、緑褐色、暗褐色と変異に富む。
- ・若齢、中齢幼虫の体長は約10～20mm、老齢幼虫(写真3)は体長約30mmである。
- ・幼虫は5齢を経て土中で蛹になり、気温25℃では9日ほどで羽化する。
- ・成虫は体長約12mm、翅開帳時は約30mmである。前翅は灰褐色で、黄褐色の環状紋がある。夜間に活動し、長距離移動する。昼間は葉裏や雑草地に潜む。



写真1 シロイチモジヨトウ卵塊  
(地独) 大阪府立環境農林水産総合研究所  
提供



写真2 シロイチモジヨトウ  
(若齢幼虫)



写真3 シロイチモジヨトウ  
(老齢幼虫)

※参考:カラー技術資料「シロイチモジヨトウ生態と防除対策」

<https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/84527/shiroichi-osaka.pdf>



## (2)ハスモンヨトウ

- ① 主な加害作物:キャベツなどあぶらな科野菜、さといも、なす科野菜、軟弱野菜、花き類など
- ② 生態
  - ・卵は葉裏に、数十～数百個程度が塊状となっており、表面は黄土色の毛に覆われる(写真4)。
  - ・卵からかえった幼虫は、集団で葉肉を食害するため、葉の表面がすけてカスリ状になる(写真5)。成長すると分散して単独で加害し穴をあける。
  - ・幼虫は、頭部の後方に2つの黒い斑紋があるので、他のヨトウムシ類と区別できる(写真6)。
  - ・体色は、若齢幼虫では淡い灰緑色で、老齢幼虫(体長約 40mm)では灰暗緑色、暗褐色など変異に富む。



写真4 ハスモンヨトウ卵塊

(地独) 大阪府立環境農林水産総合研究所  
提供



写真5 ハスモンヨトウ

(若齢幼虫)



写真6 ハスモンヨトウ

(老齢幼虫)

## 3 防除方法

### ○基本的な防除

- (1) ほ場の見回りをこまめに行い、卵塊や分散前の幼虫は、見つけしだい葉ごと取り除く。また、ねぎでは、幼虫が葉身内に食入している場合があるので、注意して観察する。

### ○侵入・産卵防止

- (1) 施設栽培では、開口部を4mm 目合いのネットで被覆する。
- (2) 露地栽培では、4mm 目合いのネット等でべたがけ、トンネルがけを行う。

### ○薬剤防除

- (1) 近年、特にシロイチモジヨトウは近隣府県で、薬剤に対する抵抗性が発達し問題になっている。
- (2) 老齢幼虫になると薬剤の感受性は大幅に低下するので、中齢幼虫までに防除することが望ましい。
- (3) 近年、薬剤に対する抵抗性が発達しており、今後の薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用を避ける(系統については別添防除薬剤例、病害虫防除指針などを参照)。

別添

表1 キャベツに登録のある薬剤例

薬剤名	系統(IRAC)	適用害虫	希釈倍数(倍)	使用時期	使用回数
アフーム乳剤	アベルメクテン系(6)	ハスモンヨトウ	1000~2000	収穫前日	3回以内
コテツフロアブル	ピロール系(13)	シロイチモジヨトウ ハスモンヨトウ	2000	収穫前日	2回以内
プレオフロアブル	ピリダリル(UN)		1000	収穫7日前	2回以内
グレーシア乳剤	イソオキサゾリン系(30)		2000~3000	収穫7日前	2回以内

表2 ブロッコリーに登録のある薬剤例

薬剤名	系統(IRAC)	適用害虫	希釈倍数(倍)	使用時期	使用回数
グレーシア乳剤 (はなやさい類)	イソオキサゾリン系(30)	シロイチモジヨトウ	2000~3000	収穫7日前	2回以内
フェニックス顆粒水和剤	ジアミド系(28)	ハスモンヨトウ			
アフーム乳剤	アベルメクテン系(6)		2000	収穫3日前	3回以内

表3 しゅんぎくに登録のある薬剤例

薬剤名	系統(IRAC)	適用害虫	希釈倍数(倍)	使用時期	使用回数
ディアナ SC	スピノシン系(5)	ハスモンヨトウ	2500~5000	収穫前日	2回以内
コテツフロアブル	ピロール系(13)		2000	収穫14日前	2回以内
プレオフロアブル	ピリダリル(UN)		1000	収穫前日	2回以内
カスケード乳剤	ベンゾイル尿素系(15)		2000~4000	収穫7日前	2回以内
アフーム乳剤	アベルメクテン系(6)	シロイチモジヨトウ	2000	収穫7日前	2回以内

表4 ねぎに登録のある薬剤例

薬剤名	系統(IRAC)	適用害虫	希釈倍数(倍)	使用時期	使用回数
プレオフロアブル	ピリダリル(UN)	シロイチモジヨトウ	1000	収穫3日前	4回以内
グレーシア乳剤	イソオキサゾリン系(30)		2000~3000	収穫7日前	2回以内
コテツフロアブル	ピロール系(13)		2000	収穫7日前	2回以内

表5 野菜類に登録のある薬剤例

薬剤名	系統(IRAC)	適用害虫	希釈倍数(倍)	使用時期	使用回数
デルフィン顆粒水和剤	BT(11A)	シロイチモジヨトウ	1000	発生初期 (収穫前日)	-
ゼンターリ顆粒水和剤 (除キャベツ、はくさい)		ハスモンヨトウ			

- ・登録は令和6年9月4日現在
- ・最新情報は農林水産省「農薬登録情報提供システム」で確認してください。( <https://pesticide.maff.go.jp/> )
- ・これら以外の剤については、Web 版大阪府病害虫防除指針も参照してください。  
( [https://www.pref.osaka.lg.jp/o120090/nosei/byogaicyu/boujo\\_shishin.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/o120090/nosei/byogaicyu/boujo_shishin.html) )